

令和2年 総務大臣年頭所感



総務大臣

たかいち さなえ
高市 早苗

新春のお慶びを申し上げます。

昨年9月に、2年1か月ぶりに再び大臣として総務行政に携わることになりました。幅広い政策資源を有する総務省の施策を有機的に組み合わせ、国民の皆様にとって必要な取組の一つひとつ着実に進め、結果を出すという決意の下、本年も、緊張感を持って全力で職務に取り組んでまいります。

昨年は、相次ぐ台風や豪雨などの自然災害により、甚大な被害が発生しました。お亡くなりになった方々に哀悼の意を表し、被災された方々に心からお見舞いを申し上げます。

私は、「国の究極の使命は、国民の皆様の生命と財産を守り抜くことである」と考えます。様々な施策の構築や運用において、安心・安全の確保に留意してまいります。

また、引き続き、「生活者の視点」に立って必要な施策を考えるという姿勢で、新しい政策を構築してまいります。

技術革新を大きなチャンスと捉え、5G・IoT・AIなどの技術を、医療、福祉、教育、地域交通、観光業、農林水産業、防災、行政サービスなどに活用し、その恩恵を享受できる地域社会を実現するため、ICTインフラと利用環境の整備を進めてまいります。

まず、5Gや光ファイバなどのICTインフラについては、地域への整備を促進し、早期の全国展開を図るほか、ローカル5Gなど地域における5Gの活用促進策にも一体的に取り組めます。

また、昨年10月に施行された改正電気通信事業法やSIMロック解除に関するガイドラインの着実な執行、MVNOによるMNO（大手携帯電話事業者等）ネットワークの利用条件・利用料金の適正性確保などにより、モバイル市場における公正競争を一層促進し、利用者の皆様にとって分かりやすく低廉な料金による携帯電話サービスを実現できるよう取り組めます。

加えて、電気通信事業分野における競争ルールについて、昨年末の情報通信審議会からの答申を踏まえ、制度整備を含めた必要な取組を行ってまいります。

国民の皆様が情報通信技術による果実を安心して享受し、経済社会が持続的に発展するためには、その基盤であるサイバー空間においてセキュリティが確保されることが何よりも重要です。

5GやIoTを含めてセキュリティリスク対策を着実に進めるとともに、セキュリティ人材の育成を一層強化し、安心・安全なICT利用環境を整備します。

加えて、G20や国内での議論などを踏まえ、AI原則の国際的な普及・展開やデータ流通に関する国際的な共通認識の醸成を図るなど、ICT分野に関する国際連携の取組を積極的にリードします。

また、デジタル・プラットフォームを巡る取引環境の整備に向けて、デジタル市場競争本部における検討に積極的に貢献します。

さらに、産業競争力強化のため、量子技術や同時翻訳をはじめとするAIなどの最先端の情報通信技術の研究開発・標準化を行います。

一方で、デジタル・ガバメントの実現に向け、国・地方を問わず、行政機関自身が、ICTの更なる活用による業務改革に取り組み、行政サービスの質の向上や業務の効率化を進める必要があります。

情報セキュリティの確保された政府の情報システム環境を整備するとともに、行政手続のデジタル化を含む従来の業務プロセス全体を見直すことにより、国民の皆様の利便性を高めます。

また、地方団体の情報システムや様式・帳票の標準化を検討するとともに、クラウド化の更なる進展を見据え、地方団体の業務の効率性と両立したセキュリティ対策について検討します。

結びに、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

令和2年元旦